

(3) 天然記念物

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
1	三峯モミ	1 本	三峯神社の鐘楼の傍らにある。指定時にはモミ属の1種とされていたが、現在はモミとウラジロモミの雑種と考えられている。樹高18m、幹周り2.3m (R7時点)。	秩父市三峰 298-1 (35.9262, 138.9302)	三峯神社	大11・3・29		秩父鉄道 三峰口駅
2	上谷の大クス	1 本	関東内陸では珍しいクスノキの巨木であり、幹周り県内最大(環境庁, H3)。指定時の樹高は約29m、幹周り12.4m。現在の樹高は27.5m、根周り16.0m (H22時点)。	入間郡越生町 上谷1316-ロ (35.9804, 139.2540)	個人 (越生町)	大11・3・29		J R 八高線 東武越生線 越生駅
3	タラヨウジュ	1 本	タラヨウの古木。指定時の樹高は約18.2m、幹周り2.7m。現在の樹高は12.0m、幹周り3.4m (H25時点)。慈覚大師(円仁、794-864)手植えとの伝説もある。	比企郡ときが わ町西平386 (36.0114, 139.2322)	慈光寺	大14・3・31		J R 八高線 明覚駅
4	カヤ	1 本	慈光寺七木の1本とされるカヤの巨木。指定時の樹高は約15.2m、幹周り6.1m。現在の樹高は17.4m、幹周り6.6m (H24時点)。	比企郡ときが わ町西平3965 (35.9953, 139.2420)	西平施業林 組合	大14・3・31		J R 八高線 明覚駅
5	勘兵衛マツ		日光脇往還にある松並木。江戸時代には100本以上あったといい、指定時には39本を数えたが、台風被害等により現在はクロマツ1本になってしまった。樹高11.7m、幹周り2.4m (H22時点)。	羽生市上新郷 6550 (36.1833, 139.5054)	埼玉県 (羽生市)	大15・2・19		秩父鉄道 新郷駅
6	伊古乃速御玉比売神社社叢		滑川の右岸台地上に位置する。常緑広葉樹アラカシが優占し、アカシデや直径1mほどのモミなども生育する。地域の潜在自然植生をうかがい知る上で重要な群落。	比企郡滑川町伊 古1241、1242 (36.0742, 139.3397)	伊古乃速御 玉姫神社	昭6・3・31		東武東上線 森林公園駅
7	入西のビャクシン	1 本	高麗川の段丘に位置する石上神社境内にある、イブキの古木。指定時の樹高は約12m、幹周り約3m。現在は、樹高14.1m、幹周り3.8m (H22時点)。別称「ねじれっ木」と呼ばれる。	坂戸市北大塚 138 (35.9567, 139.3681)	石上神社	昭6・3・31		東武東上線 坂戸駅
8	ステゴビル		明治39年に金山神社境内に自生するのが発見された、ヒガンバナ科の多年草ステゴビルの自生地。ステゴビルは本州中部に隔離的に分布し、その自生地は少ない。春に茎が伸び、夏にいったん枯れた後、花茎を伸ばして白い小さな花をつける。	坂戸市新堀 255-1 (35.9684, 139.3692)	金山神社	昭6・3・31		東武東上線 坂戸駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
9	滝の入タブの木	1 本	タブノキは暖地の海岸沿いに多く、関東内陸では希少な巨木。浅間神社奥社から 40m ほど離れた東向きの山腹にある。指定時の樹高約 24.5m、幹周り 5.5m。現在は、樹高 20.0m、幹周り 6.9m (R4 時点)。	飯能市上直竹 下分 302 (35.8459, 139.2532)	富士浅間 神社	昭 6・3・31		西武池袋線 飯能駅、 J R 八高線 東飯能駅
10	堂平ヒカリゴケ自生地		堂平山頂近くの東斜面、通称「籠穴」の岩陰に自生。平成 10 年度の調査では籠穴は見つからず、崩落したものと推察され、周辺の岩陰にヒカリゴケの生育が確認された。	比企郡小川町 腰越	小川町	昭 6・3・31		J R 八高線 東武東上線 小川町駅
11	脚折のケヤキ	1 本	樹高約 36m、幹周り 7.2m の巨木として指定された。昭和 47 年の風雨により、枝周り 3m もある大枝が幹の 1/3 を裂いて落下し、現在の樹高は約 17m、幹周り 4.8m (R6 時点)。	鶴ヶ島市脚折 6-10-9 (35.9414, 139.3899)	白鬚神社 (鶴ヶ島市)	昭 7・3・31		東武東上線 坂戸駅
12	清雲寺のサクラ	1 本	エドヒガンの枝垂れ桜の古木。文安 3 年、開山樗峯香禅師のお手植えともいわれる。指定時の樹高は約 14.1m、幹周り 4m。現在の樹高は 15m、幹周り 4.25m (R7 時点)。	秩父市荒川上 田野 690 (35.9562, 139.0435)	清雲寺	昭 7・3・31		秩父鉄道 武州中川駅
13	大川戸の大イチョウ	1 本	八幡神社境内にある樹高約 23.6m、幹周り 8.5m のイチョウの巨木として指定された。萌芽幹が成長して主幹と融合し、現在の樹高は 29.2m、幹周り 8.9m となっている。	北葛飾郡松伏 町大川戸 2414 (35.9468, 139.8061)	八幡神社	昭 7・3・31		東武伊勢崎線 せんげん台駅
14	馬蹄寺のモクコク	1 本	樹高 8.2m、幹周り 2.1m に達する盆栽状の美しい姿をしたモクコクの大木であるとして指定された。現在の樹高は 12.5m、幹周り 2.6m (H22 時点)。	上尾市平方 2088 (35.9462, 139.5520)	馬蹄寺	昭 7・3・31		J R 高崎線 上尾駅
15	並木のクス	1 本	樹高約 31m、幹周り 4.2m のクスノキの巨木として指定された。当時は農家の前にあったが、現在は並木のクス公園として整備されている。現在の樹高は 19.6m、幹周り 6.3m (R3 時点)。	川越市並木 277 (35.9015, 139.5211)	川越市	昭 9・3・31		J R 川越線 南古谷駅
16	金仙寺枝垂サクラ	1 本	エドヒガンの枝垂れ桜の老樹で、根本から 2 本に分枝、東側は幹周り 3.9m、枝張り 9.5m、西側は幹周り 1.6m、枝張り 8.5m、樹高 7.5m。(R7 時点)。	秩父市下影森 6650 (35.9869, 139.0700)	金仙寺	昭 10・3・31		秩父鉄道 影森駅
17	古寺鍾乳洞		槻川の支流、金嶽川の左岸にある秩父層群中の石灰岩の崖に開口する、横穴型鍾乳洞。石筍や鍾乳石の発達はよくないが、総延長約 220m と規模が大きく、形成期が新しい(完新生)点が特徴。現在閉鎖されており見学できない。	比企郡小川町 古寺 176 ほか (36.0391, 139.2383)	小川町	昭 11・3・31		J R 八高線 東武東上線 小川町駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
18	橋立鍾乳洞		武甲山をつくる石灰岩体の西側にある、縦穴型鍾乳洞。見学路の総延長は130～140m、比高は30m。洞窟生成物の発達が良いが、成長は停止している。県内唯一の観光洞。	秩父市上影森 708 (35.9604, 139.0609)	大淵寺	昭11・3・31		秩父鉄道 浦山口駅
19	長徳寺のビャクシン	1本	長徳寺本堂の南側にあるイブキの太木。建長寺(鎌倉市)のイブキの実生由来といわれる。指定時の樹高は13m以上、幹周り3.3m。現在の樹高は14m、幹周り3.8m。	川口市芝 6303 (35.8413, 139.6905)	長徳寺	昭12・3・31		JR京浜東北線 蕨駅
20	子の権現の二本スギ		かつては、樹高約37m・幹周り7.3m、樹高約24m・幹周り5.2mの南北2本あった。北側の1本はH14の台風で最後の大枝が折れて枯れ、現在は南側の1本が残る。樹高14.0m、幹周り7.95m(R3時点)。	飯能市南 461 (35.9063, 139.1901)	子ノ権現 天竜寺	昭13・3・31		西武秩父線 西吾野駅
21	国神の大イチョウ	1本	古墳脇に植えられたといわれる、樹高約36m、幹周り8.2mの巨木。主幹の大部分は失われたが、萌芽幹が成長し、大きな樹体を作っている。現在の樹高は23m、幹周り8.2m(R6時点)。	秩父郡皆野町 国神 577-2 (36.0813, 139.0915)	皆野町	昭15・3・31		秩父鉄道 皆野駅
22	下里の大モミジ	1本	かつては樹高約7.2m、幹周り3.9mの立派なイロハモミジであったが、現在は主幹は失われ、樹高5.6m、幹周り1.5mとなっている。	比企郡小川町 下里 2582 (36.0456, 139.2768)	個人 (小川町)	昭16・3・31		J R 八高線 東武東上線 小川町駅
23	久伊豆神社のフジ	1本	久伊豆神社の参道脇にある、花房が1mに及ぶノダフジの園芸品種。株周りは7.3m、地際で多数分岐し、枝張りは東西14.5m、南北27.2mに及ぶ。	越谷市越ヶ谷 1700 (35.9012, 139.7903)	久伊豆神社	昭16・3・31		東武伊勢崎線 越谷駅
24	多聞寺のムクロジ	1本	多聞寺境内にあるムクロジの古木。かつては樹高約27m、幹周り3.6mあった。現在は主幹上部が失われて胴吹き枝葉により生存。樹高8.3m、幹周り4.1m(H22時点)。	北本市本宿 2-37 (36.0302, 139.5374)	多聞寺	昭16・3・31		J R 高崎線 北本駅
25	見返坂の飯能ササ		日本近代植物学の黎明期、1926年に牧野富太郎博士が発見・命名した。現在ではアズマザサに含めるのが一般的だが、クマザサ・ミヤコザサの雑種とする説もある。	飯能市飯能 1119-1 (35.8646, 139.3063)	西武鉄道 株式会社 (飯能市)	昭16・3・31		西武池袋線 飯能駅、 J R 八高線 東飯能駅
26	道元平ウラジロ群落		暖地性の常緑のシダ植物で、西日本には多産し、正月飾りにも使われる。県内の自生地は県西南部の山あいによく、太平洋側内陸部の自生の北限に近い大規模な群落である。	比企郡ときが わ町田黒 (36.0256, 139.2960)	個人	昭18・3・31		東武東上線 武蔵嵐山駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
27	光照寺コウヤマキ	1 本	光照寺参道脇にあるコウヤマキの古木。かつて樹高 20m 以上あったというが、現在は樹勢が衰え、樹高 18.7m、幹周り 3.9m (H22 時点) となっている。	桶川市加納 1906 (36.0298, 139.5628)	光照寺	昭 18・3・31		J R 高崎線 桶川駅
28	蓮花院のムク	1 本	蓮花院本堂前にある、樹高約 27m、幹周り 6m の県内随一のムクノキの巨木として指定された。現在の樹高は 28.5m、幹周り 6.9m (H22 時点)。	春日部市大倉 53 (35.9802, 139.8015)	蓮花院	昭 19・3・31		東武野田線 南桜井駅
29	駒つなぎのケヤキ	1 本	今宮神社中央の池畔にある、樹高約 25.4m、幹周り 7.3m のケヤキの巨木として指定された。主幹は失われ大枝が南北に伸び、特徴的な樹形となっている。	秩父市中町 16-10 (35.9947, 139.0799)	秩父市	昭 19・3・31		秩父鉄道 御花畑駅、 西武秩父線 西武秩父駅
30	高山不動の大イチョウ	1 本	本堂下の広場と斜面の境にある巨木。気根が発達し「子育てイチョウ」とも呼ばれる。指定時の樹高は約 37m、幹周りは 9.7m、現在の樹高は 30.0m、幹周り 10.1m (R4 時点)。	飯能市高山 347-2 (35.9397, 139.2189)	常楽院	昭 22・3・25		西武秩父線 西吾野駅
31	土屋神社神木スギ	1 本	古墳上に祀られている土屋神社社殿裏のご神木。樹齢は 1 千年を超え、落雷などにより白骨化した部分が多いが、様々な樹勢回復措置がとられ樹勢は維持されている。樹高 17m、幹周り 8.6m (R7 時点)。	坂戸市浅羽野 2-2-11 (35.9524, 139.3813)	土屋神社	昭 23・3・17		東武東上線 坂戸駅
32	西善寺のコミネカエデ	1 本	西善寺本堂前にあるカエデの古木。樹種はイロハモミジ系とみられる。指定時の樹高は約 8m、幹周り 2.8m、現在の樹高は 7.3m、幹周り 3.9m (H22 時点)。	秩父郡横瀬町 横瀬 598 (35.9730, 139.1089)	西善寺	昭 25・3・30		西武秩父線 横瀬駅
33	妙行寺のモクコク	1 本	境内の塚にあるモッコクの古木。樹高約 19.7m、幹周り 3.4m の大木だったが、現在は幹が枯れ、胴吹き枝葉により維持されている。樹高 10.7m、幹周り 3.6m (H22 時点)。	さいたま市中 央区鈴谷 4-15- 2 (35.8727, 139.6265)	妙行寺	昭 25・3・30		J R 埼京線 南与野駅
34	飯能の大ケヤキ	1 本	樹高約 24m、幹周り 6 m のケヤキの大木として指定された。飯能市街の神明神社境内にある。現在の樹高は 30.5m、幹周り 7.8m。ケヤキらしい箒状の樹形を保っている。	飯能市川寺 392 (35.8465, 139.3247)	神明神社	昭 26・3・31		西武池袋線 飯能駅、 J R 八高線 東飯能駅
35	ヒカゲツツジ		関東以西の山地の岩場などに自生する、シャクナゲに似た形状のクリーム黄色の花をつける常緑低木ヒカゲツツジの自生地。指定地は観音山の稜線東側にあり、珪石採掘の鉱区の中で保護されている。	秩父郡東秩父 村御堂 (36.0492, 139.1835)	東秩父村	昭 26・3・31		J R 八高線 東武東上線 小川町駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
36	ツゲ	1 本	宅地山側に位置する樹高約 5m、幹周り 0.5m のツゲの太木として指定された。現在は近くに歩道だけがあり、樹高は 12.5m、幹周り 0.9m (H22 時点) となっている。	秩父郡東秩父村白石 917 (36.0223, 139.1730)	個人	昭 26・3・31		J R 八高線 東武東上線 小川町駅
37	皆谷のサカキ	1 本	宅地裏の小さな社にある、樹高約 10m、幹周り 1.2m のサカキの太木として指定された。現在は民家はなくなったが、樹高 15.8m、幹周り 1.6m (H22 時点) とその樹容を保っている。	秩父郡東秩父村皆谷 76-1 (36.0438, 139.1796)	個人	昭 26・3・31		J R 八高線 東武東上線 小川町駅
38	ミミカキグサとモウセンゴケ自生地		湿地性の食虫植物の自生地。かつて丘陵域各地の谷津田の水路脇や畔などに見られたが、生産活動の変化により激減。ミミカキグサ・ホザキノミミカキグサは県内では絶滅、指定地ではモウセンゴケのみ辛うじて維持されている。	大里郡寄居町鉢形 (36.0986, 139.2072)	日本デベロ株式会社 (寄居町)	昭 26・3・31 (追加指定及び一部解除) 平 4・3・11		東武東上線 鉢形駅
39	菖蒲のフジ	1 本	花穂の長さが 1 m にもなるノダフジの園芸品種。7 本ほどの幹からなり、根周り 4.5m、棚は 13.7m × 19m ほど (H22 時点)。	久喜市菖蒲町菖蒲 552 (36.0677, 139.6041)	菖蒲神社 (久喜市)	昭 27・3・31		JR 宇都宮線 東武伊勢崎線 久喜駅
40	大宮藤園のフジ	3 本	花穂の長さが 1.2m を超えるノダフジの園芸品種で、3 本とも幹周り 2 m に及ぶ太木であるとして指定された。昭和 40 年に北区東大成町から現在地へ移植され、「青葉園のフジ」と呼ばれるようになった。	さいたま市大宮区三橋 5-934 (35.9064, 139.5924)	青葉園	昭 28・3・26	埼玉指 第 4 号	J R 川越線 西大宮駅
41	ゴヨウツツジ自生地		釜伏山北方の断崖に、最大根周り 1.5m に及ぶシロヤシオ（ゴヨウツツジ）30 数本をはじめ、ツツジ類が数百本群生した。現在、遷移の進行などによりシロヤシオは減少したが、ミツバツツジ等のツツジ科低木の群生が見られる。	大里郡寄居町風布 (36.0963, 139.1449)	個人 (寄居町)	昭 29・3・4	埼玉指 第 18 号	秩父鉄道 波久礼駅
42	加須の浮野とその植物		氷期に形成された谷の上に泥炭が積もってできた泥炭層が厚く堆積した湿原であり、かつては地域一帯が浮き上がったといわれる。関東平野では希少な北方系の湿原植物トキソウ等希少野生植物が生育する。	加須市北篠崎 606、607 ほか (36.1330, 139.6292)	加須市・個人	昭 29・10・23	埼玉指 第 33 号	東武伊勢崎線 加須駅
43	満蔵寺のお葉附イチョウ	1 本	葉の上に実をつける珍しいイチョウ。樹形にも特徴があり、枝が水平から斜め下に伸張する。指定時の樹高は 28m、幹周り 3m、現在の樹高は 19.6m、幹周り 3.16m (H22 時点)。	春日部市新方袋 253 (35.9793, 139.7302)	満蔵寺	昭 29・10・23	埼玉指 第 34 号	東武野田線 豊春駅、 八木崎駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
44	碓神社のイヌグス	1 本	古利根川の右岸にある、関東内陸では珍しいタブノキの巨木。指定時の樹高は 12.1m、幹周り 4.3m、現在の樹高は 7.5m、幹周り 4.77m (H22 時点)。	春日部市粕壁東 2-2 (35.9827, 139.7573)	個人	昭 30・11・1	埼玉指 第 56 号	東武伊勢崎線 野田線 春日部駅
45	両神のフクジュソウ群落		春植物フクジュソウの自生地。秩父は戦前までフクジュソウの本場として知られ、秩父の名を冠した園芸品種もある。標高 600～1000m の山中、6 か所が指定されている。	秩父郡小鹿野町両神小森、両神薄	個人	昭 30・11・1 (名称変更) 平 23・3・18	埼玉指 第 57 号	秩父鉄道 三峰口駅
46	黒山の特殊植物群落		黒山三滝近くの岩壁に、暖地性シダ植物のアオネカズラやシシランが生育する。アオネカズラは自生の北限であり、埼玉県希少野生動植物種保護条例の指定種にもなっている。	入間郡越生町黒山 (35.9419, 139.2439)	個人 (黒山区)	昭 31・11・1 (追加指定) 昭 33・3・20	埼玉指 第 87 号	J R 八高線 東武越生線 越生駅
47	清河寺の大ケヤキ	1 本	屋敷林中の神明社にある、樹高 32m、幹周り 8.5m のケヤキの巨木として指定された。主幹は折損したが大枝で樹勢が維持されており、現在の樹高は 32.4m、幹周り 8.3m。	さいたま市西区清河寺 778-2 (35.9358, 139.5836)	個人	昭 33・3・20	埼玉指 第 111 号	J R 川越線 西大宮駅
48	倉田の大カヤ	1 本	明星院本堂西の竹林中にある樹高 31.4m、幹周り 5.7m のカヤの名木として指定された。現在は周囲の竹は伐開され、樹高は 29.7m、幹周り 5.9m となっている。	桶川市倉田 150 (36.0106, 139.5886)	明星院	昭 33・3・20	埼玉指 第 113 号	J R 高崎線 桶川駅
49	骨波田のフジ	1 本	本堂向かって左手にある、根周り 3.5m のノダフジ。大小 7 本の幹からなり、花房 2m に達することもあるという。現在の根周りは 3.4m、棚の広さは 22.3m × 20.5m ほど (H22 時点)。	本庄市児玉町高柳 901 (36.1732, 139.1072)	長泉寺	昭 34・3・20	埼玉指 第 131 号	J R 八高線 児玉駅
50	秩父神社杵の森の ブッポウソウ		ブッポウソウは嘴と脚が赤く全身が青緑色のキジバト大の夏鳥であり、古来霊鳥とされる。市街地における貴重な営巣地であるとして指定された。	秩父市番場町 1-1 (35.9982, 139.0841)	秩父神社	昭 35・3・1	埼玉指 第 145 号	秩父鉄道 秩父駅
51	若御子断層洞及び断層群		若御子山北北西の山麓にある、秩父層群に属するチャート中にある断層洞。断層によって生じた破碎帯の粘土や角礫が、地下水などによって浸蝕されて生じた。	秩父市荒川上田野 2334、2335 のイ、ロ (35.9545, 139.0437)	清雲寺ほか	昭 35・3・1	埼玉指 第 146 号	秩父鉄道 武州中川駅
52	てんぐ岩のムカデラン		暖地性の寄生ラン。天狗岩の南南西～南南東の 12m × 23.5m の範囲に生育し、自生の北限地として指定された。現在は、イワヒバ等と混生し、範囲は 4m × 6m ほど (H22 時点)。	秩父市吉田阿熊 1345 (36.0681, 139.0306)	個人	昭 36・3・1	埼玉指 第 157 号	秩父鉄道 皆野駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
53	久那のステゴビル		ヒガンバナ科の多年草ステゴビルの自生地。本州中部に隔離的に分布し、その自生地は少ない。春に葉が出て夏には枯れ、その後花茎を伸ばして白い小さな花をつける。	秩父市久那 2565 (35.9703, 139.0444)	個人	昭 36・3・1 (追加指定) 平 31・2・22	埼玉指 第 158 号	秩父鉄道 浦山口駅
54	大高取山のコシダ群落		暖地性の常緑のシダ植物であり、関東内陸に位置する県内の自生地は限られる。指定地は大高取山東部の山腹南斜面にあり、面積約 2 ha。ウラジロも生育する。	入間郡越生町 越生 (35.9628, 139.2878)	越生町	昭 39・3・27	埼玉指 第 180 号	J R 八高線 東武越生線 越生駅
55	三境のヒカリゴケ自生地		都幾川支流の源流部の谷に開口した間口 15m、高さ 1.5m、奥行 3～4m ほどの岩窟内に生育。関東平野中央の丘陵域に自生するのは貴重として指定された。	比企郡ときが わ町西平 (35.9867, 139.2203)	個人・国	昭 39・11・17	埼玉指 第 198 号	J R 八高線 明覚駅
56	金鑽神社のクスノキ	1 本	樹高 20m、幹周り 5.1m、暖地性の樹木クスノキが県北において巨木となったのは貴重として指定された。現在の樹高は 28.5m、幹周り 6.3m (H22 時点)。	本庄市千代田 3-2-3 (36.2430, 139.1773)	金鑽神社	昭 44・3・31	埼玉指 第 232 号	J R 高崎線 本庄駅
57	城山稲荷神社のケヤキ	1 本	社殿正面にあり、樹高 30m、幹周り 6.4m のケヤキの巨木として指定された。H 9 の台風などにより主幹が被害を受け、現在の樹高は 24.5m、幹周り 6.9m となっている (H22 時点)。	本庄市本庄 3-5 (36.2437, 139.1922)	城山稲荷 神社	昭 44・3・31	埼玉指 第 233 号	J R 高崎線 本庄駅
58	密蔵院のイチヨウ	1 本	中川左岸の自然堤防上に位置し、高さ 30m、幹周り 5.3m、雌木としては珍しい巨木として指定された。子育てイチヨウとも呼ばれる。現在の樹高は 15.5m、幹周り 5.5m (R3 時点)。	吉川市高久 1-18-2 (35.8680, 139.8411)	密蔵院	昭 47・3・28	埼玉指 第 257 号	J R 武蔵野線 吉川駅
59	徳星寺の大カヤ及び暖帯林		樹高 21m、幹周り 5.1m の盤根をもつカヤの巨木と、シラカシ・スダジイ・ヤブツバキ・ヒサカキ等からなる暖温帯林として指定された。現在のカヤは樹高 21.8m、幹周り 5.5m (H22 時点)。	上尾市畔吉 751 ほか (35.9646, 139.5421)	徳星寺	昭 48・3・9	埼玉指 第 265 号	J R 高崎線 上尾駅
60	梅園神社のスダジイ林		急峻な斜面に成立したスダジイ・ヒノキ・アラカシ・サカキ等からなる暖温帯性常緑広葉樹林であり、地域の自然植生を推定する上で重要。中間温帯の要素も見られる。	入間郡越生町 小杉1、2 (35.9720, 139.2756)	梅園神社	昭 49・5・28	埼玉指 第 272 号	J R 八高線 東武越生線 越生駅
61	南川のウラジログシ林		大山祇神社の社叢。ウラジログシを主体とし、ツクバネガシ・ヤブツバキ・ヒサカキ等からなる暖温帯性常緑広葉樹林。小規模であるが地域の自然植生を推定する上で重要。	飯能市南川 1521 ほか (35.9170, 139.1724)	個人	昭 49・5・28	埼玉指 第 273 号	西武秩父線 西吾野駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
62	神明神社の社叢		境内林と参道林からなる。遷移途上だが東部低地でまとまった林分は貴重であり、自然植生を推定する上で重要として指定された。現在はスダジイ・ヒノキ・ムクノキ等が優占（H22 時点、境内西側）。	久喜市菖蒲町 上栢間 3366 ほか (36.0459, 139.5756)	神明神社	昭 52・3・29	埼玉指 第 292 号	J R 高崎線 桶川駅
63	元荒川ムサシトミヨ 生息地		元荒川源流の約 400m が指定地。ムサシトミヨは体長約 5 cm のトゲウオ科トミヨ属の希少淡水魚。埼玉～東京の湧水源をもつ細流に生息したが、現在は元荒川源流が唯一の生息地。世界的に見てもトミヨ属の南限に近く貴重。	熊谷市久下、 佐谷田 (36.1319, 139.3968)	熊谷市	平 3・3・15 (追加指定) 平 8・3・19	埼玉指 第 374 号	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅
64	桂木のタブノキ林		タブノキ林は暖地海岸沿いに多く、関東内陸では希少な群落。地域の原植生を指標する上で重要。傾斜地にあり、タブノキ・スダジイ・モチノキ等が高木層を構成。	入間郡毛呂山 町滝ノ入 846 (35.9478, 139.2755)	個人	平 3・3・15	埼玉指 第 375 号	J R 八高線 毛呂駅、 東武越生線 東毛呂駅
65	萩日吉神社社叢		アカガシと結びついたモミ壮齢林は関東では希少であり、暖温帯上部の特徴を示しており生態学的に重要。「児持杉」と呼ばれるスギの大木を含む。	比企郡ときが わ町西平字宮 平 1198-1 ほか (35.9968, 139.2387)	萩日吉神社	平 4・3・11	埼玉指 第 391 号	J R 八高線 明覚駅
66	大久保の大ケヤキ	1 本	県内のケヤキの中で、幹周りでは最大の巨木。日枝神社参道脇にある。指定時の樹高約 20m、幹周り 9.4m。現在の樹高は 25.1m、幹周り 9.8m (H22 時点)。	さいたま市桜 区大久保領家 433-4 (35.8667, 139.6043)	日枝社	平 6・3・16	埼玉指 第 415 号	J R 埼京線 与野本町駅
67	下里のスダジイ林		槻川左岸の愛宕山山頂、かつてあった愛宕神社の社叢。県内最大規模のスダジイ林であり、地域の原植生を示すものとして重要。暖温帯常緑広葉樹林の中核といえるスダジイ林の、内陸部における北限に近い。	比企郡小川町 下里字愛宕山 1939 (36.0406, 139.2863)	八宮神社 (小川町)	平 8・3・19	埼玉指 第 437 号	J R 八高線 東武東上線 小川町駅
68	廣瀬神社の大ケヤキ	2 本	入間川左岸に位置し、江戸時代後期（1810-1830）に編纂された『新編武蔵風土記稿』にも登場する。境内中央の木は樹高 32m、幹周り 6.3m、神楽殿横の木は樹高 27m、幹周り 6.1m (H22 時点)。	狭山市広瀬 2-1612 (35.8586, 139.3895)	廣瀬神社	平 10・3・17	埼玉指 第 449 号	西武新宿線 狭山市駅
69	正龍寺玉垂のカエデ	2 本	主幹も支幹もよく屈曲し、枝垂れる優雅な樹形をもつ、県内では珍しいイロハモミジの品種。昭和 13 年指定の先代が枯死したことから、接ぎ木により特徴をよく引き継いだ 2 本が指定された。	大里郡寄居町 藤田 101 (36.1235, 139.1827)	正龍寺	平 13・3・16	埼玉指 第 475 号	J R 八高線 秩父鉄道 東武東上線 寄居駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
70	無量院石重寺の夫婦 ウメ	1 本	枝垂れ性の八重咲き、花が2つ 並んで咲き実を結ぶ。昭和 14 年指定の先代が枯死したことか ら、接ぎ木によって品種の特異 性と優雅な樹形を引き継いだこ の木が指定された。	児玉郡神川町 新宿 43-1 (36.1861 ,139.0663)	石重寺	平 13・3・16	埼玉指 第 476 号	J R 八高線 丹荘駅
71	玉敷神社のフジ	1 本	神社に隣接する公園にあり、根 周り 4.8m、枝張り約 700㎡、花 房 1 m の県内でも有数のノダフ ジ園芸品種として指定された。 現在の根周りは 5.1m、6 本程 度の幹からなる (H22 時点)。	加須市騎西 535-1 (36.1073, 139.5708)	玉敷神社	平 14・3・22	埼玉指 第 481 号	東武伊勢崎線 加須駅
72	川本町産出カルカロ ドン メガロドンの 歯群化石	7 点	新生代新第三紀中新世の大型 の肉食性サメの歯化石群。昭 和 61 年、荒川河床の約 1200 万 年前の地層から関根氏が発見し 65 点を採集、その後、内藤氏 らにより 8 点が採集された。1 個体分を網羅しており、学術上 貴重。	秩父郡長瀬町 長瀬 1417-1	埼玉県 (県立自然の 博物館)	平 15・3・18	埼玉指 第 488 号	秩父鉄道 上長瀬駅
73	川本町産出カルカロ ドン メガロドンの 歯群化石	65 点	新生代新第三紀中新世の大型 の肉食性サメの歯化石群。昭 和 61 年、荒川河床の約 1200 万 年前の地層から関根氏が発見し 65 点を採集、その後、内藤氏 らにより 8 点が採集された。1 個体分を網羅しており、学術上 貴重。	秩父郡長瀬町 長瀬 1417-1	埼玉県 (県立自然の 博物館)	平 15・3・18	埼玉指 第 489 号	秩父鉄道 上長瀬駅
74	川本町産出カルカロ ドン メガロドンの 歯群化石	1 点	新生代新第三紀中新世の大型 の肉食性サメの歯化石群。昭 和 61 年、荒川河床の約 1200 万 年前の地層から関根氏が発見し 65 点を採集、その後、内藤氏 らにより 8 点が採集された。1 個体分を網羅しており、学術上 貴重。	秩父郡長瀬町 長瀬 1417-1	埼玉県 (県立自然の 博物館)	平 15・3・18	埼玉指 第 490 号	秩父鉄道 上長瀬駅
75	狭山市笹井産出アケ ボノゾウ骨格化石	56 点	新生代第四紀前期更新世に繁栄 した小型のステゴドン類の化 石。昭和 50 年、入間川左岸の 約 200 万年前の地層から笹井化 石林調査グループにより発見さ れた。狭山市所有のものと同一 個体。	秩父郡長瀬町 長瀬 1417-1	埼玉県 (県立自然の 博物館)	平 15・3・18	埼玉指 第 491 号	秩父鉄道 上長瀬駅
76	狭山市笹井産出アケ ボノゾウ骨格化石	3 点	新生代第四紀前期更新世に繁栄 した小型のステゴドン類の化 石。昭和 50 年、入間川左岸の 約 200 万年前の地層から笹井化 石林調査グループにより発見さ れた。埼玉県所有のものと同一 個体。	狭山市稲荷山 1-23-1	狭山市 (狭山市立博 物館)	平 15・3・18	埼玉指 第 492 号	西武池袋線 稲荷山公園駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
77	荒川の青岩礫岩		三波川帯の結晶片岩からなる礫岩。この付近に中央構造線が通っており、西側の三波川帯が隆起した際、結晶片岩が東側の領家帯側に剥落・堆積し、礫岩となったもの。崩れやすい結晶片岩にも関わらず直径1m以上の巨礫が含まれており、世界的にも類例を見ない地質現象。	大里郡寄居町 赤浜字川越岩 98、101 地先 (36.1174, 139.2496)	国 (国土交通省 関東地方整備 局荒川上流河 川事務所)	平 24・3・16	埼玉指 第 527 号	秩父鉄道 小前田駅
78	大山沢のシオジ林		シオジ、カツラ、サワグルミ、トチノキ等が混生する良好な溪畔林。シオジは関東以西太平洋側の山地溪流沿いに断続的に分布し、秩父地方は代表的な生育地。太平洋側の冷温帯における溪畔林を代表する群落。	秩父市中津川 字大山沢 530 の一部(中津 川県有林 7 林 班ろ・は・に・ ほ小班) (35.9629, 138.7564)	埼玉県	平 25・3・12	埼玉指 第 530 号	秩父鉄道 三峰口駅
79	龍穏寺の着生植物群		境内周辺や、寺域山林部の樹木に、湿潤な環境を好む暖地性の着生植物が多数生育している。地形・気候などの面から県内でも有数の生育地と考えられる。	入間郡越生町 龍ヶ谷 452-1、 452-4 (35.9544, 139.2450)	龍穏寺	平 25・3・12	埼玉指 第 531 号	J R 八高線 東武越生線 越生駅
80	中川低地の河畔砂丘群 志多見砂丘		「中川低地の河畔砂丘群」は、榛名山や浅間山の火山灰等に由来する大量の砂が、平安時代～室町時代の寒冷期の強い季節風により、利根川の旧河道沿いに吹き溜められて形成された、全国的にも珍しい内陸砂丘。羽生市～越谷市にかけて、点々と分布する。 志多見砂丘は加須市志多見・馬内に位置する、幅 250m、長さ 2.5km に及ぶ、日本最大規模の河畔砂丘。指定地は東寄りの加須西中学校の敷地内。現状はアカマツ林となっており、南側に面した国道 125 号からも、砂丘の起伏や砂の様子を観察できる。指定地以外にも、むさしの村や立正佼成会裏手などに、良好な砂丘が残されている。	加須市馬内 3-1、3-3、9-1、 9-3、13-1 (36.1360, 139.5710)	加須市	平 26・3・11	埼玉指 第 533 号	東武伊勢崎線 加須駅、 南羽生駅
81	中川低地の河畔砂丘群 浜川戸砂丘		比較的小規模であるが、考古遺物から砂丘の形成時期・形成終了時期が判明している重要な砂丘の一つ。指定地は神社・公園裏手の小高い樹林地となっており、砂丘上を散策できる。	春日部市粕壁 字浜川戸 5597 の一部ほか (35.9818, 139.7425)	八幡神社 ・稲荷神社 ・春日部市	平 28・3・15	埼玉指 第 548 号	東武野田線 八木崎駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
82	中川低地の河畔砂丘群 西大輪砂丘		久喜市西大輪・東大輪・八甫に位置する、幅 150m、長さ 1.6km に及ぶ大規模な河畔砂丘。指定地は雷電社・西大輪神社の境内であり、起伏や砂の様子を観察することができる。指定地以外では、県道を挟んだ東大輪浅間神社や、北方の光厳寺付近などに、良好な砂丘が残されている。	久喜市西大輪 字原 243-1 ほか (36.0957, 139.6746)	雷電社・ 西大輪神社	平 28・3・15	埼玉指 第 549 号	JR 宇都宮線 東鷲宮駅
83	中川低地の河畔砂丘群 桑崎砂丘		比較的小規模な砂丘列で構成される。中川低地の河畔砂丘群の中では最も北に位置し、同低地の砂丘群の中では最上流部（起点）に位置づけられる。指定地の桑崎三神社境内は、3 列の砂丘列のうち東側の 1 列（長さ 450m、幅 50m）に位置する。神社の境内では、地表面の砂の状態を観察できる。本殿より北側に砂丘の高まりが残され、神社周辺の道路からの比高（1 ～ 1.5m 程度）が観察できる。	羽生市大字桑 崎字堀内 724-1 (36.1767, 139.5117)	桑崎三神社	平 29・3・24	埼玉指 第 556 号	秩父鉄道 新郷駅
84	中川低地の河畔砂丘群 高野砂丘		中川低地の河畔砂丘群の中では中流部、大落古利根川の東側に位置する。指定地である八幡神社境内及び隣接する下野の森は、大小 2 列で構成される砂丘列のうち東側の規模の大きな、長さ 2,800m、幅 85m の砂丘列上に位置する。指定地では、砂丘の起伏や堆積した砂の様子を良好に観察することができる。周辺は市街地化が進んでいる。	北葛飾郡杉戸 町大字下野字 山合 895-1 ほか (36.0574, 139.7021)	八幡神社・ 杉戸町	平 29・3・24 （追加指定） 平 30・2・27 （追加指定） 令 7・3・14	埼玉指 第 557 号	東武日光線 杉戸高野台駅
85	龍ヶ谷の障子岩（断 層鏡肌）		林道梅本支線の最奥に位置する、チャートの露頭。高さ 50m、幅 56m。断層鏡肌は幅 13m、高さ 8m の範囲で露出し、周囲の光を反射するほど磨かれている。断層面の下部には運動時の摩擦によって刻まれた擦り傷が多数確認できる。	入間郡越生町 大字龍ヶ谷字 障子岩 1053-1 の一部ほか (35.9559, 139.2217)	個人	令 2・2・21	埼玉指 第 569 号	J R 八高線 東武越生線 越生駅、 西武秩父線 正丸駅
86	チチブサワラ骨格化石	一括	新生代新第三紀中新世の古秩父湾堆積層から算出した大型魚類の骨格化石。頭の骨を中心に多くの骨を残す同種のホロタイプ。当時のサワラ族の姿を知ることができ、古秩父湾の動物相の多様性を示す化石。	秩父郡長瀬町 長瀬 1417-1	埼玉県 （県立自然の 博物館）	令 3・7・30	埼玉指 第 571 号	秩父鉄道 上長瀬駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
87	秩父山地のニホンオオカミ標本 毛皮標本	2 点	世界的にニホンオオカミの標本が少ない中、秩父地域周辺の民家には、江戸時代から明治時代にかけて秩父山地で獲られたと伝わる毛皮や頭骨などが複数残されている。これらは魔除けなどに利用されたもので、秩父地域の信仰や風俗慣習といった文化史的側面から重要であると同時に、絶滅した野生動物の自然史標本としても貴重なもの。本件のうち 1 枚は、明治 45 年(1912) 頃、三峰の奥でとれたものを猟師から譲り受けたと伝わる(秩父市蒔田伝来)。もう 1 枚は、名栗・青梅方面で獲れたもので大正 11 年(1922) 頃、病氣治癒の目的で畑 2 反歩を換金し入手したと伝わる(秩父市寺尾伝来)。	秩父市三峰 298-1	宗教法人 三峯神社 (秩父宮記念 三峰山博物館)	令 7・3・14	埼玉指 第 586 号	秩父鉄道 三峰口駅
88	秩父山地のニホンオオカミ標本 頭骨	1 点	江戸時代後期に先祖が近くの山(長瀬町周辺)で獲ったものと伝わる上顎骨。全体の形態的特徴を良く残し、大部分の歯と、一部に皮膚も残る。魔除け等のため貸し出されたもので、その際に削り取られないよう全体が墨で着色されている。頭頂部などに削り取られた跡がある。	長瀬町	個人	令 7・3・14	埼玉指 第 587 号	
89	秩父山地のニホンオオカミ標本 頭骨	1 点	鉄砲打ちをしていた先祖が飯盛峠(現ときがわ町柵平・飯能市北川の境)で獲ったものと伝わる上顎骨。全体の形態的特徴は残すが、頬骨周辺や歯は失われている。	ときがわ町	個人	令 7・3・14	埼玉指 第 588 号	
90	秩父鉾山産鉾物・岩石標本 附 関連資料一式	142 点	秩父市中津川にある秩父鉾山の最盛期(昭和 30～40 年代)に採掘され、事業所内の標本室に収集・保管されてきたもので、国内でも第一級といえる稀有な産状を示す鉾物標本が多数含まれる。全体として、秩父鉾山の鉾床学的特徴や歴史を知ることができる。	秩父郡長瀬町 長瀬 1417-1	埼玉県 (県立自然の 博物館)	令 7・3・14	埼玉指 第 589 号	秩父鉄道 上長瀬駅